

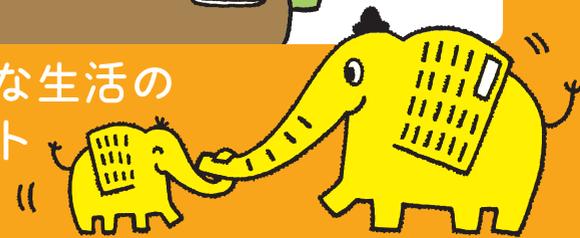
学校で 読もう



家族で 読もう



新聞は豊かな生活の
サプリメント



一般社団法人 日本新聞協会

〒100-8543 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル7階 電話03(3591)4410

一般社団法人 日本新聞協会

NIEは世界70か国以上で 取り組まれています。

NIEは世界共通

新聞・ニュースの国際組織 (WAN-IFRA、世界新聞・ニュース発行者協会) の調査によると、NIEは世界70か国以上で取り組まれています。



日本新聞協会はこれまで全国で8,000を超える学校をNIE実践指定校に認定し、一定期間新聞を提供し、授業で活用してもらう活動を進めてきました。



新聞タイム、朝のNIEタイムなど名称は様々。朝読書からヒントを得て誕生しました。毎週決められた時間帯に全校ま

たは学年・学級などで新聞を読む活動。興味のある記事を切り抜き、感想や意見を書く「新聞スクラップ活動」が基本です。

朝のNIEタイムなど、NIEの実践例

- 楽しい写真を見つけよう (小学校低学年)
- 記事に載った「ひと」の生き方、考え方から学ぶ (中学校)
- 社説を要約する、新聞記事をもとにプレゼンする、情報リテラシーを身につける (高等学校)

学ぶ力を高める NIEタイム

NIEのウェブサイトで詳しく紹介しています。



NIEのウェブサイトにはさまざまなNIE実践例を掲載しています。詳細は <http://nie.jp/>

NIE 検索

NIEって何ですか？

新聞界はNIEを進めています

NIE (Newspaper in Education エヌ・アイ・イーと読みます) は、学校などで新聞を教材として活用したり、新聞作りを行ったり、メディア・リテラシーを学んだりする活動の総称です。1930年代にアメリカで始まり、日本では85年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。教育界と新聞界が協力し、社会豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展などを目的に掲げて、全国で展開しています。

NIEは文部科学省が重視する「言語活動の充実」に役立つ取り組みです。

がんばれ新聞くん ～出前授業の巻～

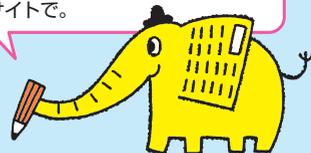


日本新聞協会はNIEとは何かということやPRする「研究・PR事業」と、学校に新聞を無償で提供する「新聞提供事業」を活動の2本柱に、NIEを推進してきました。この新聞提供

事業により、新聞を受け取る学校を「NIE実践指定校」と呼んでいます。各都道府県NIE推進協議会の推薦を受け、新聞協会が認定しています。また新聞協会加盟の新聞各社はNIEに取り組む実践教師向けセミナーを開催したり、学校からの要請を受け記者を派

遣したりしています。出前授業では、新聞づくりの基礎や記者の仕事について話をします。

新聞協会では毎年、家族や友だちといっしょに記事を読み、感想・意見などを書いて記事とともに応募する「いっしょに読もう！新聞コンクール」を実施しています。学校・学級単位での応募も大歓迎！詳しくは左記のウェブサイトです。

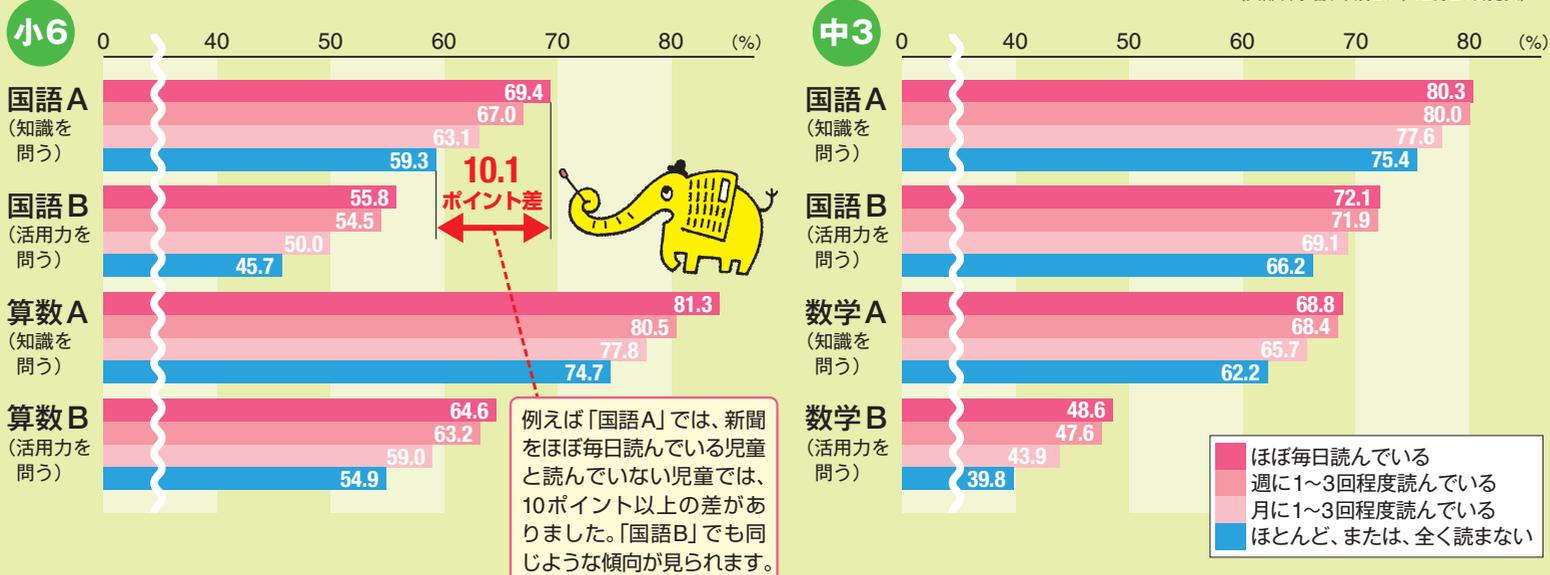


新聞を読む子は学ぶ力が高い!

設問「新聞を読んでいますか」への回答と各教科の正答率(%)

平成25年度全国学力・学習状況調査

(文部科学省、平成25年12月25日発表)



NIEで育てたい3つの学力

日本NIE学会会長
(広島大学大学院
教育学研究科教授)
小原 友行



新聞を活用した学びの大きな魅力は、次の3つの学力を育てることができることです。第1は、「思考力・判断力・表現力」です。なぜなら、深く情報読解された新聞記事は、それ自体がすぐれた学習材となりますし、子どもたちが行う新聞づくりの活動は、思考・判断・表現の活動そのものだからです。第2は、これらの力の土台となる言葉の力やコミュニケーション力を育てることができることです。そして第3は、記事の中に登場する、社会をつくり、それを動かす人間に関心を持つようになることです。

新聞読む子供は正答率高く

文部科学省実施の学力調査と生活習慣などを尋ねたアンケート結果を分析したところ、新聞読習慣と学力との間に相関関係があることが分かりました。新聞で培った言語力が問題文の理解に役立つだけでなく、社会への興味を育む上で新聞活用が大きな力を持ちます。

地域や社会の出来事への関心の高い生徒は正答率が高い、という結果も出ています。この分析結果は新聞活用を盛り込んだ新学習指導要領を推進する根拠となるデータと言えます。

新聞を読むように勧めている家庭の子供は学力が高い

文部科学省は家庭環境と子供の学力の関係についても調査を行いました。新聞や本を読むように勧めている家庭の子供は、各教科の正答率が高い結果が出ました。保護者自身の新聞読習慣と子供の学力の関係でも、「よく読む」保護者の子供の正答率は「まったく読まない」場合よりも高いことが分かりました。



学習指導要領と新聞 新聞活用や新聞作りが教科書に掲載

文部科学省が告示する教育課程の基準である学習指導要領では、各校種で「新聞」が指導すべき内容として明確に位置づけられ、多くの教科書に盛り込まれました。先生方がNIEに確信を持って取り組むバックボーンとなるものです。見出しなどに着目して必要な情報を探しながら新聞記事を読んだり、複数の記事を読み比べて自分の考えを明確にしたりする工夫をこらした授業が行われています。

例えば、小学校国語では3、4年「B書



くこと」において言語活動例として学級新聞づくりが取り上げられました。このほか社会、総合的な学習の時間、理科、生活、家庭、道徳にも「新聞」が登場。中学校、高等学校でも指導要領解説に「新聞」が明記されています。

家族で読もう

一緒に読んで 広がる楽しさ



家族で新聞を読んでみると、一人では気づかないさまざまな楽しさがあります。また、子供に新聞を読む習慣がつくことで、学力が向上するという調査結果も出ています。家族で新聞を活用する一例をご紹介しますので、気軽に試してみてください。

切り抜いた
新聞記事を
贈ってみた。



ニュースに
ついて家族で
話し合っ
てみた。



この記事の
事件について、
おじいちゃんどう思う？



記事に
載っている
料理を一緒に
作ってみた。



お母さん
よろこぶかな？

銀土料理の
ニュース
じゃないか。

想像もしていなかった出会いをくれた記事、HAPPYな気持ちになった記事にコメントを添えてご応募ください。キラリと光るコメントをお寄せいただいた方には、賞をお贈りします。家族での取り組みも大歓迎です。詳しくは新聞協会の「よんどく！」サイトで。
<http://www.yondoku.com/>

ほかにも冊子「1日3分で学力アップ！ 家族みんなで新聞学習」では、さまざまな活用法を紹介しています。新聞協会業務担当までお問い合わせください。▶ gyoumu-pr@pressnet.or.jp

新聞は、豊かな生活を送る 最適なサプリメントです。



新聞で受験対策
コラムや社説を切り抜いたり、書き写したり。一定の分量の文字を毎日読むことが、知らず知らずのうちに読解力、論述力を高めます。受験の面接や小論文対策にもつながります。



新聞は仕事に役立つ情報の宝庫
上司や同僚との情報交換、取引先との懇談の際にも、新聞を通して身についた話題力が役立ちます。予期せぬニュースに毎日出合える新聞。大人力をぐんと高めてくれます。



○ 小学校入学

○ 中学校入学

○ 高校入学

○ 大学入学

○ 就職

○ 独立・結婚

幼児教育にも役立つ新聞
新聞に載っている数字を一緒に探したり、ひらがな、カタカナを読んだり。親子の遊びで楽しい時間が生まれます。



新聞は就活にも効果を発揮
見知らぬニュースに出合ったり、触れたりすることが話題力、面接力を高めます。何より、見知らぬ出来事を楽しもうという感性を育み、就活ライフがぐっと楽しくなります。



家族で新聞に親しんで、豊かな生活
新しく家庭を持ち、家族が増えても、新聞はコミュニケーションづくりに役立ちます。